

# メイトルのつばやき No.3



## 《 奇 跡 》

皆さんこんにちは！

私は、これまでたくさんの行事に参加してきました。夏祭り、北山の収穫祭り、イカダレース大会、キリンの森の間伐など、どれも楽しい行事ばかりでした。私はこれらのイベントを通じて、豊かな自然の中での生活を楽しんでいます！私は、留学中、名古屋市に住んでいたのですが、この自然あふれる街での生活は、全て新鮮な体験です。

10月3日に八百津小学校5、6年生児童による創作劇「メノラの灯」が上演されました。私は、八百津の国際交流員として、上演される前に「メノラ」という七枝樹の燭台についてお話をさせて頂きました。たくさんの方々の前でのスピーチは、とても緊張しました。そして何よりも、創作劇は素晴らしいものでした。一人一人、役柄を見事に演じていました。子どもたちがホロコーストについて理解し、杉原氏に尊敬の念を抱いていることが一人一人の役柄を通じて伝わってきました。私は、イスラエル人、ユダヤ人として深く感動しました。少し前（9月28日）になりますが、子どもたちが、ホロコーストについて学んでいる教室を訪問させて頂きました。ホロコーストの恐怖だけでなく、“人権”について、一生懸命に考えていました。人権剥奪、人権尊重とはとても難しい問題です。世界中の子供たちの中には、未だ人権の尊重が認められていない国があります。私たち大人だけでなく、子どもたちも一緒に考えていくことが、世界中の人々の基本的な権利が認められることにつながっていくと思います。私は、教室訪問を通じて、杉原氏の生まれたここ八百津の子どもたちがその先頭に立っていると感じました。

私は杉原氏について考える時、12月初旬の「ハヌカ」というユダヤ人のお祭りを思い出します。約二千年前、ユダヤ人が住むイスラエルの地は、ギリシャ帝国により占領されてしまいました。その時、ユダヤ人の神殿で最も聖地な場所が汚されてしまいました。そして、永遠に消されることのなかった「メノラ」の火が消されてしまったのです。その後、ユダヤ人はギリシャ軍を制圧しましたが、メノラの火は消されたままでした。神殿を清めるため、再びメノラが灯火されました。しかし、神殿には小さな瓶に入ったオリーブオイルしかありませんでし

た。このオリーブオイルだけでは、一日で消えてしまいます。しかも、新しいオイルを運ぶまでには数日かかるため、再び火は消えてしまいます。途方にくれていたところに奇跡が起こりました。少量のオリーブオイルでメノラの火は8日間も燃え続けたのです。それは「ハヌカの奇跡」と呼ばれています。ハヌカの奇跡は、1940年にも起こりました。リトアニアの国へ脱出したユダヤ人が、領事代理を務めていた杉原氏のビザ発行によって救われたのです。1985年、杉原氏は「諸国民の中の正義の人」という名誉称号を受けることになりました。その後、杉原氏に捧げるためイスラエルのベイトシメシュという街の近くに杉を植えることになりました。当初、杉原氏の「杉」という字は、植物の「杉」と同じ字であることを知りませんでした。ユダヤ人にとって「杉」という木は、精神が宿り、難関を乗り越えるという意味があります。そして、エルサレムの第一神殿を建てるため杉の木が使われ、神聖な次元であることが示されています。ベイトシメシュの街に杉原氏を象徴する杉を植え、森を作ることが決定されました。偶然だったのでしょうか、それとも必然だったのでしょうか...

12月5日の日曜日に「ハヌカ」の料理教室を行います。興味を持たれた方は是非ご参加ください！お待ちしております。



### ハヌカの料理教室

と き	12月5日(日)
と ころ	ファミリーセンター
参加費	200円
内 容	甘いスフガニア(ドーナッツ)とおいしいレピバ(パンケーキ)を作ります。
申込み	役場産業課へ11月30日(火)までに電話または直接申し込みください。
問合せ	産業課43 - 2111(内線2252)

ハヌカを楽しみましょう！